

みみよう幼稚園だより



令和元年10月号 ***** <http://mimyo.org/youchien/>

第94回運動会、やりました！！

おそらく大半の大人が延期必至！と覚悟をしていた第94回運動会でしたが、なんと、最高に爽やかな運動会日和！熱中症の心配もなく、笑顔いっぱいでお終えることが出来ました。前日までは、暑い日が続き、公園での練習では、ミストファンをフル稼働させながら子どもたちの体調管理にも気を配ってまいりました。そんな中でも、子どもたちは弱音を吐くこともなく、「かけっこやりたい！」など意欲的で頼もしい姿を見せてくれました。



そして、本番！一人ひとりが、十分に個性も集団の力も発揮してくれました。その素晴らしい活躍に、何度も胸が熱くなりました。保護者の皆様も、きっと同じように感じていただけたと思います。

また、テントもたてない会場では、急な変更などもあり、保護者の皆さんにはご心配をおかけすることも多かったと思います。しかし、競技中から終了後に至るまで、終始力強いお手伝いや熱い応援のお陰で、進行も大変スムーズで、おおいに盛り上がった運動会となりました。日頃より保護者の皆様のご協力には、感謝の気持ちでいっぱいなのですが、私たち職員だけではなく、保護者の皆様、ご家族の皆様と手を携えてこそその保育であり、幼児教育であることも、強く感じさせていただくことができました。そうした保護者の皆様の背中を日々見ているからこそその子どもたちの活躍なのです。子どもたちからも、保護者の皆様方からもたくさんのお言葉を学ばせていただきました。



本当にありがとうございました。

今年の運動会で、最も心を打たれたのは、子どもたちのプライドでした。かけっこひとつをとっても、子どもたちの心の動きが見えてきます。「見てもらって嬉しい」「いつもの状況と違うので走れない」「お友だちが先にゴールしてくやしい…」一人ひとり全員から、その時どきの感情があふれていました。その動き



や表情の違いの背景には、月齢、学年のちがいはもちろんですが、幼稚園での友だちや先生との関わり、ご家族との会話等など、それはたくさん時間と行動と人との関わりが積み重ねがあるのです。そして、動かなかった、走らなかった、泣いてしまった子どもたちにも、確実な成長と、自分の思い＝プライドを感じることが出来ました。今はうまく言葉にはできない人もいますが、その行動の全てに理由があり、必然性があるのです。練習期間に一度も足を踏み入れることの無かった初めての小学校の運動場で、見事な表現をみせてくれた子どもたちの成長とプライドを保護者の皆様としっかりと共有し、大いに喜びを分かち合いたいと心から思っています。

令和2年度の新入園児募集を開始いたしました。幼児教育の無償化も進む中、本園では、満三歳児クラスを開設するなど、大きな大きな節目を迎える準備を進めています。これまでも増して楽しくあそび込みながら、一人ひとりが伸びていく毎日になるようにと、決意も新たに後半戦をスタートさせてまいります。

園長 三上 玲子